

谷口シール印刷 株式会社

多種多様なシール・ラベルを一貫生産

- 納期相談
- 企画力・自信有
- コスト相談
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン
- 試作可・小ロット
- 量産対応



凸版間欠輪転機

主な事業内容

シール・ラベル製品の製造・販売

主な取引先(納入先)

大手アミューズメント会社、弱電、銘板、油脂・食品メーカー、企画・印刷会社

主な製品

PL・銘板・可変情報ラベルやPOP・ボトルなどの各種表示ラベル

業務内容 凸版間欠輪転印刷中心に多種小ロット対応

谷口シール印刷は、平圧ラベル印刷機1台で創業。高品質なラベルを提供するため、いち早く間欠輪転ラベル印刷機を導入。その後、裏刷りユニットや可変印字機、POPラベル用糊殺し機、インクジェット印刷機なども導入した。また、画像検査機の導入により高精度な検査も可能としており、弱電から薬品、食品、文具など幅広い分野に納入し、高い信頼を得ている。

現在は、凸版間欠輪転印刷機を中心に、平圧機や箔押し機、インクジェット機により多品種小ロット生産にも対応。可変印字や糊殺し、裏面印刷、全抜き加工、スリッター機によるロール仕上げや袋入れまで、シールやラベルに特化して顧客ニーズに添った製品を提供している。

強み ラベルの可能性を引き出す高い技術

同社は、糊殺し加工によるPOPラベルや立体ラベル製造における技術力の高さで定評がある。糊面にシリコーン系を印刷して糊を部分的に無効化し、ラベルの製造に対応する。全面糊ではなく糊殺し加工による不必要な部分の糊を無効化したラベルは、間欠機により印刷と同時にワンパスで行うことができ、小ロットながら低価格かつ短納期で仕上げるこ

社長あいさつ



代表取締役社長 谷口 真司さん

社長に就任して3年目となり、敬意をもって周囲に感謝することを忘れず、一歩先の行動とサービスを心がけ、次世代も貢献できる企業であり続けます。また、今までどおりのやり方を踏襲しては太刀打ちできない難しい時代なので、失敗を恐れず、チャレンジしながら次世代につないでいきたいです。

主な保有設備

- 間欠レタープレスラベル印刷機 MAX-300ほか 三起機械製ほか 7台
- 凸版平圧シール印刷機 PC-45ほか エコー電機製作所製 4台
- 箔押し機 HD-250 イワサキインターナショナル製 2台
- インクジェットラベル印刷機 LEC2-330ほか ローランド ディー・ジー 製ほか 2台
- シール・ラベル検査装置 Trinity Coco TCC301 ダックエンジニアリング製 1台

大阪 06

住 所 / 〒561-0858 豊中市服部西町 5-17-20

T E L / 06-6862-5545

F A X / 06-6866-2951

創 業 / 昭和51年5月

設 立 / 昭和55年1月

資本金 / 3,000万円

従業員 / 30名



技術優良工場の認定を受けている

受賞歴 世界で認められた技術力を積極的にPR

が可能。このような特殊技術はPOPラベルに限らず、立体ラベルや剥がしやすくするビックアップ部などに応用することができ、「アイデア次第でラベルの可能性を広げられる」と谷口真司社長は胸を張る。また、アメリカおよびカナダ向け輸出ラベルの製品安全規格「UL」「CUL」認定品の製造にも対応しており、この信頼性の高さも強みの一つとなっている。

全日本シール印刷協同組合連合会主催のシール・ラベルコンテストの規定課題で一位になったほか、世界ラベルコンテスト部門別で入賞するなど過去複数回のラベルコンテストで入賞した。こうした実績が評価され、技術優良工場にも認定されている。

また、最近是对外的な活動にも力を入れている。令和5年からは「MEBIC」共催のペーパーサミットに参加。クリエイターとの意見交換を通じて新たな着想を得た。認知度向上とPRを兼ねて、MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）の常設展示場への出展や本社工場の見学会も実施。令和6年夏には豊中市のオープンファクトリーに参画し、小学生を対象に工場見学とワークショップを開催し、好評を得た。今後も精力的に活動していくことでアイデアを蓄え、技術を磨いていく。



多種多様なラベルサンプル



<https://www.ts-p.co.jp>